

第5回 下野市情報化推進委員会 議事メモ

日 時	平成 20 年 2 月 2 8 日 15:00 ~ 17:30
場 所	国分寺公民館 2階 研修室
出 席 者	出席委員 根本典夫（会長）、伊東延仍、金子伸禄、川口桂子、諏訪謙一、高山邦重、榆木悦夫、端山端松本典子、渡邊吉一 敬称略
	情報化推進本部 篠崎和雄（第一分野担当副市長）、野口和雄（総務企画部長）、 諏訪守（市民生活部長）、毛塚静雄（健康福祉部長）、 齋藤良雄（経済建設部長）、川俣一由（上下水道部長）、 石田竹男（教育次長） 事務局（企画財政課） 篠崎雅晴（参事兼課長）、長勲（主幹） 神戸良和（副主幹）、川俣貴史（主査）
配 布 資 料	次 第 資料 1：下野市地域情報化計画（基本構想・基本計画） 資料 2：下野市地域情報化計画（案）に関するパブリックコメントの結果について 資料 3：下野市地域情報化計画（実施計画）

1. 第5回情報化推進委員会開催にあたって

（根本会長）

- ・ 今回をもって最後の情報化推進委員会となりました。今回はパブリックコメントについての対応、実施計画について議論したいと思います。本日も活発な議論をお願いいたします。

2. 下野市地域情報化計画（基本構想・基本計画）のパブリックコメントへの対応について

（事務局）

- ・ （資料2の説明）

（根本会長）

- ・ 概ね事務局の対応案で問題はないと思います。
- ・ パブリックコメントの中で「予算に対する言及がない」という意見がありました。各事業の予算規模もセットになっていると望ましいですが、現実的には現時点で予算規模を明らかにするのはその根拠を明確に示せないということもあり難しいかと思ひます。

（委員）

- ・ 6番目に「優先順位を踏まえたうえで検討・推進して参ります」とありますが、実施計画において優先順位は明らかにしているのではないのでしょうか。

(事務局)

- ・ このご意見は「総合計画の中での地域情報化計画の位置づけ」であると認識しております。市全体としての検討・推進は総合計画を元に進め、地域情報化計画の中での各事業の優先度は今回の実施計画を元に推進して参りたいと思います。

(委員)

- ・ パブリックコメントを出したかったけど出せなかった友人から質問を預かって参りましたので、この場で披露させていただきます。「小山ではCATV会社がインターネット接続サービスもっており、インターネットを接続しますかと声がけしたところ、ネット接続は8%程度の加入で、小山のコミュニティチャンネルの紹介をしたうえでCATVも合わせて声がけしたところ15%まで加入が伸びたとのことです。下野市でも同じようにCATVサービスを検討されないのでしょうか。」という質問です。

(事務局)

- ・ そのような付加サービスにより加入率が上がることは認識しております。現時点では、下野市の情報化では超高速インターネット網の実現を基本としており、付加サービスについてはあくまでも付加サービスとして捉えております。

(根本会長)

- ・ 近年はインターネットとテレビの融合化が進み、パソコンの画面でテレビを見る、あるいはテレビの画面でインターネットができるなどの利用方法もあります。このような状況の中、CATV事業者は自ら番組制作も行っており、事業環境が厳しくなっているということも聞いています。下野市においてはどのような事業者がインターネット接続サービスを行うべきか、さまざまな面からよく検討する必要があると思います。

(委員)

- ・ 「誰もが情報化の恩恵を」というところに着目したパブリックコメントが多く、市民の関心はここに集まっているものと思います。計画の中の表現や今後の検討についてもこの視点が重要だと思います。

(事務局)

- ・ ネットワークのインターフェースとしてテレビは非常に親しみやすい媒体だと思います。計画内には具体的にテレビという単語は出てきませんが、地域情報化のビジョンの中でもさまざまな媒体を想定した記述があり、ここに含まれているという解釈もできます。今後の推進におきましては、常に市民からの視点で進めて参りたいと思います。

(委員)

- ・ 外出が困難な高齢者は情報を入手するチャンネルも限られます。例えば、茂木町のCATVでは災害の警報・情報などがテレビ消していても自動で表示されるなどの事例も聞いています。このような技術を活用してパソコンだけではなく、他の手段でも情報を入手できる手段があればよいと思います。

(根本会長)

- ・ 今いただいたご意見は基本計画自体の修正には及ばないと思いますが、実施計画あるいは今後の具体的な推進に置いて十分に留意していただきたいと思います。
- ・ パブリックコメントの対応に関しましては、当委員会として事務局案を了承したいと思います。

3. 下野市地域情報化計画(実施計画)について(報告)

(各専門部会長)

- ・ (資料3の説明)

(委員)

- ・ 計画が計画書策定だけに終わらないよう、実行にも力を入れていただきたいと思います。
- ・ また、これまでの行政の発想に留まるのではなく、市民の視点で計画を進行していただきたいと思います。例えば、IT 研修講師は全くのボランティアで進めてきました。この際、無償協力を前提とするのではなく、ボランティアの協力を得つつも、多少の支援をしなければ IT 研修の継続的な実施は困難だと思います。

(専門部会長)

- ・ 実際にボランティアとして協力いただいている委員からいただきました貴重なご意見を真摯に受け止め、市民と市との協働がより一層進むよう、今後改善して参ります。

(根本会長)

- ・ 今後の基本計画、実施計画の見直しについてはどうお考えでしょうか。情報化は技術の進展、社会状況が常に変化しています。4 年間の計画をそのまま変更せずに進めることは現実的には難しいと思います。

(事務局)

- ・ 来年度も見直しを行いたいと考えております。その後も逐次、内容改訂が必要だと考えております。

(根本会長)

- ・ 基本計画の 46 ページに事務局機能、本部機能の強化という項目がありますが、平成 20 年度は具体的にどのようなことを予定していますでしょうか。

(事務局)

- ・ 平成 20 年度に具体的な体制の検討を予定しております。

(根本会長)

- ・ 9 ページの「住民票自動交付機利用サービスの拡充」において「設置場所の変更」と具体的な記述がありますが、設置場所を増やすのではなく、移転することで市民の利便性の向上は保たれているのでしょうか。

(事務局)

- ・ 設置場所移転により、市全体としては利用者が増えるものと想定しております。ただし、現在の設置場所付近の市民にはまだ説明をいたしておりませんので、最終決定、移設はその後という認識であります。

(委員)

- ・ パソコンの講習会はぜひとも受講したいと考えています。具体的にどのように充実させていくのでしょうか。また周知方法、開催場所はどのようにお考えでしょうか。

(専門部会長)

- ・ 昨年は年 2 回、1 回あたり 10 コマで実施いたしました。講習で使用しているパソコンがかなり古くなってきましたので、これを一新したいと考えております。また、現在はガイドブック、市の広報で講習会のお知らせをしております。これもさらに市民へ情報が伝わるよう検討していきたいと考えております。
- ・ また、講習開催場所については市民の利便性を考えますと、各庁舎での実施が望ましいのですが、受講者数との兼ね合いもあり、市民の皆様のニーズを踏まえ、今後の検討が必要だと考えております。

(委員)

- ・ 本計画では光ファイバーによるインターネットへの接続が大きな柱であり、Word や Excel の

使い方よりもネットへの接続の仕方、インターネットを利用した利便性向上に繋がる講習内容が必要だと思います。また研修講師もボランティアをあてにするのではなく、予算化が必要だと思います。

(専門部会長)

- ・ 民業圧迫にならないよう、市として果たすべき役割をよく検討し、今後具体的な内容を議論して参ります。

(委員)

- ・ 事業を推進する際に、複数年度にまたがることで事業の推進が滞るようなことはありませんでしょうか。

(事務局)

- ・ 事業の継続性について支障はございません。

(委員)

- ・ 26 ページの「農業者対象パソコン講習会」ですが、実務でも生かせるような内容の講習会にしていただければと思います。

(専門部会長)

- ・ 現在は青色申告を主な対象として講習を実施しております。今後はそれ以外の実務でも生かせるよう幅広い研修を検討いたします。

(委員)

- ・ 鹿沼市では生徒が校門を通ると保護者にその情報がメールで自動送信されるということです。さらに通学路にも IC タグの読取装置をつければさらに細かく子どもの居場所が把握できます。また、高齢者見守りシステムについても他事例を参考により良いものにしていただきたいと思います。

(専門部会長)

- ・ 現在は担当者がベンダーのデモを見るなど、具体的な機能の検討も行っております。より良いものが作れるよう今後も検討を進めて参ります。
- ・ 現在子どもが取り組んでいるスクールガードボランティアはどこかに潜んでいるであろう不審者と子ども間に割って入る存在であります。IC タグの活用がこのスクールガードボランティアを超える位置づけになるためには、校門以外にも通学路にもセンサーを置いて詳細なデータを把握するシステムが必要かと思っております。費用対効果も含め、今後さらに検討を進めて参ります。

4. 今後のスケジュールについて

(根本会長)

- ・ 委員会は本日で終了となりますが、実施計画の取り扱いは今後どのようなスケジュールとなっていますでしょうか。

(事務局)

- ・ 今後は実施計画に基づいて地域情報化を進めて参ります。

5. 情報化推進委員会閉会に当たって

(事務局)

- ・ 当委員会の目的も達成し、本日を持ちまして委員会は終了となります。最後に広瀬市長より挨拶いただきます。

(広瀬市長)

- ・ 委員会の皆様には5回の委員会を開催いただき、またどの回におきましてもご熱心なご議論をいただき、取りまとめていただきました地域情報化計画を、今後ご意見、ご提言を頂戴しながら推進して参りたいと思います。
- ・ 来年度の予算要求におきましても、地域情報化は重要課題として取り上げられており、いろいろな動きが出てくることと思います。
- ・ 下野市は恵まれた場所でありながらも、情報化に取り残される地域が出ないとも限りません。そのようなことも踏まえ、市民と共に進めて参りたいと思います。
- ・ 長期にわたってのご議論、委員会の開催に感謝を申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(事務局)

- ・ これをもちまして本委員会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

以上